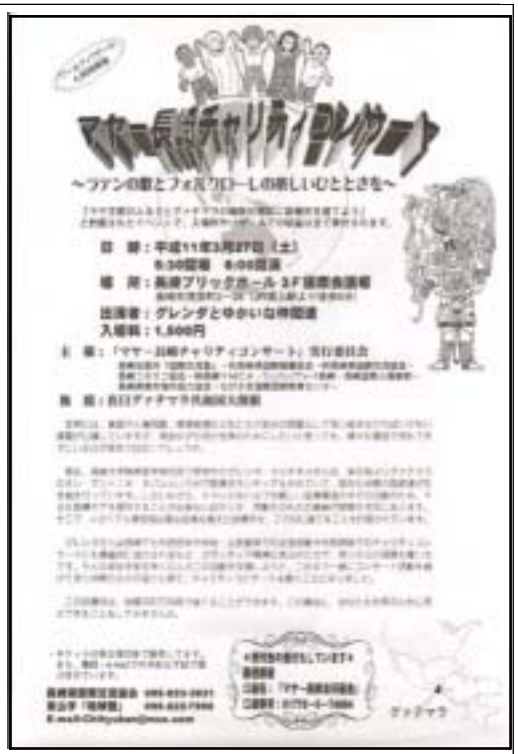
地域の他団体へ呼びかけ人となって実行委員会を作り、中心となって実施した国際協力活動

中米グァテマラの無医村にクリニックを作った活動

留学生として長崎大学熱帯医学研究所へ来てから数年間、国際交流塾・東山手「地球館」で活動を共にし、中心メンバーの一人であったグレンダ・マルチネスさんが、実は来日前から故郷である中米のグァテマラにある無医村のサン・アントニオ・ラパス村で医療ボランティアを行っており、村人から継続の養成はあるが帰国後は経済的に継続が困難であるという話を受け、可能な限りの資料を提出してもらって企画運営会議で支援を検討し、「マヤ-長崎友好基金」を設置し自分たちでクリニックを作ろうと動き出し、このチャリティ活動を複合的に展開、多くの協力者を得て総額３００万円近く資金の得るなど国際交流塾としては最大の国際協力活動となった。

マルチネス医師は帰国後、現地に NGO "ASOCIACION PARA LA SALUD"を受け入れ団体として設立。現地サンアントニオラパスの住民や村役場の協力を得、２０００年４月にクリニック「AMIGOS DE NAGASAKI Guatemala-Japan」を完成した。オープニングセレモニーには代表（牛嶋）が現地へ赴き、住民や村長さんなどと共に出席。



マルチネス医師の挨拶。

ウーバンギャーカスの演奏

バーバンの歌と演奏

ラテンバーのプロ歌手の歌